

取扱説明書

グリース用バケツポンプ

SK-55 ITEM No.880307

SK-77 ITEM No.880308



880307
SK-55



880308
SK-77

警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、レバー式手動ポンプで、NLGI NO.0 のグリースを給脂する機器です。キャビネット内に多量のグリースを保有でき、コンプレッサーのない屋外などでの給脂作業に最適なポンプです。ご使用になれるグリースは、NLGI NO.0 位までのグリースです。あまり固いグリースを使用しますと、エアポケットが生じ連続しての使用はできません。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えらるる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性がありますを示しています。



注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告



- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。



- 使用するグリースの種類によっては、発ガン物質が含まれているものもあります。グリースメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取扱ってください。

注意



- 本製品は、グリース以外の溶剤には使用できません。



- 本製品は、固いグリースをご使用になりますとポンプのサクシオン部の周りに空洞が生じ、連続して使用することができません。NLGI NO.0 位までのグリースにのみご使用ください。固いグリースをご使用になる場合は、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

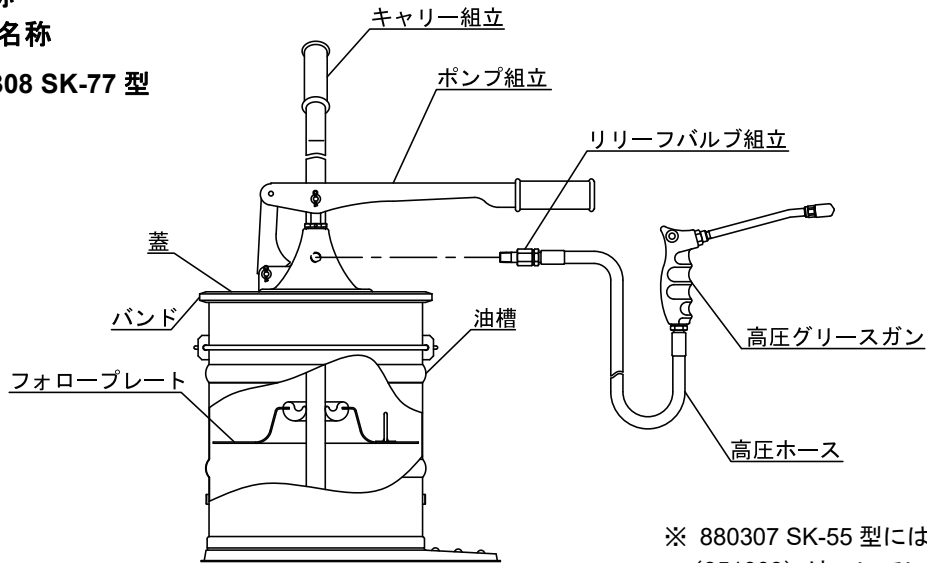
目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 使用前の準備	1
3. 使用方法	2
4. 保守・点検	
4.1 故障の点検とその対策	3
4.2 保守・点検	3
4.3 分解・組立	3
5. 部品分解図・パーツリスト	4
6. スペック	4
7. 製品保証登録シート	5
8. 保証規定	6

1. 各部の名称

1.1 各部名称

■880308 SK-77 型



※ 880307 SK-55 型にはキャリー組立 (851003) はついていません。

1.2 梱包内容

本製品は、段ボールケースに主機器と付属品が別個に梱包されています。
開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。
また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

2. 使用前の準備

⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材(またはシールテープ)を塗布し緩まないよう確実に締込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
(ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。)
配管接続後、各部の漏れがないか、確認してください。

<装置の組立>

- 1) ポンプ組立のグリース出口に付属の高圧ホース・高圧グリースガンを取付け、スパナで確実に締付けてください。

<グリースを入れる>

- 2) 油槽に蓋を固定しているバンドのストッパーを外し、止め金を起こしてバンドを緩めて外してください。(Fig 1)
- 3) 蓋をポンプ組立と共に取外してください。
- 4) 油槽の中のフォロープレートを取出してください。

※NOTE

ポンプ組立のサクシオン部、フォロープレートに砂やゴミなどがつかないように、十分注意してください。

- 5) 油槽内を清潔なウエスなどで拭いてから、ご使用のグリースを移し替えてください。(Fig 2)
砂やゴミなどがグリースに入らないよう、注意してください。
- 6) グリースの表面を平らにし、フォロープレートの上下の向きに注意して中央にセットしてください。

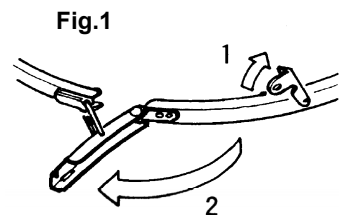


Fig.2

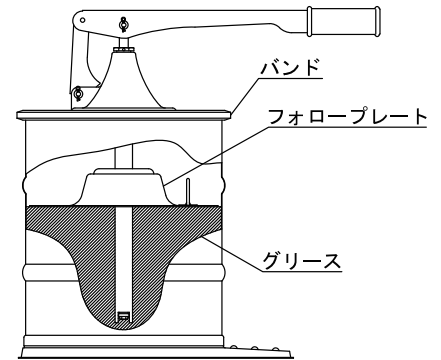


- 7) ポンプ組立のサクシオン部をきれいに拭いてから、フォロープレートの中央の穴にポンプのサクシオン部を通すようにして蓋を元通りにセットしてください。(Fig 3)
- 8) バンドを元通りに締めて蓋を油槽に固定してください。
このとき、ハンドルの位置は、作業のやり易い位置（踏板を踏んで操作するので）に向けてください。
- 9) ハンドルを上下にしばらく動かしますと、高圧グリースガンの先端よりグリースが出てきます。最初のグリースはポンプ内のエアが混じり、良い状態ではありません。少しグリースを吐出させ、完全な状態になってからご使用ください。

※NOTE

エアの混入したグリースは、白く濁っています。

Fig.3



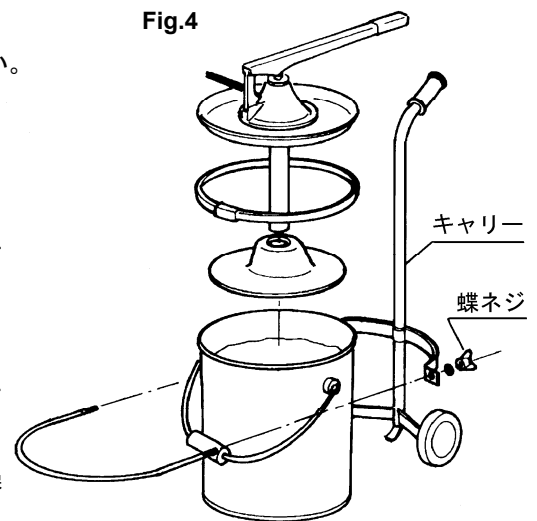
<パール缶入りのグリースをそのまま使う場合>

本製品は、グリースを油槽に移し替えずに、パール缶に直接セットして使用することもできます。(Fig 4)

この場合は、前記 2.2)~2.8)項の作業の代わりに次の作業を行ってください。

- 1) キャリー付の機種の場合は、キャリーの蝶ネジをねじ戻して取外し、油槽からキャリーを外してください。
- 2) 油槽に蓋を固定しているバンドのストッパーを外し、止め金を起こしてバンドを緩めて外してください。
- 3) 新しいパール缶入りのグリースの蓋を取外してください。
- 4) パール缶入りのグリースの表面を平らにし、フォロープレートの上下の向きに注意して中央にセットしてください。
- 5) 本製品の蓋をポンプ組立と共に取外してください。
- 6) ポンプ組立のサクシオン部をきれいに拭いてから、フォロープレートの中央の穴にポンプのサクシオン部を通すようにして蓋をパール缶にセットしてください。(Fig 3)
- 7) バンドを元通りに締めて蓋をパール缶に固定してください。
このとき、ハンドルの位置は、作業のやり易い位置（踏板を踏んで操作するので）に向けてください。
- 8) キャリーをパール缶に取付け、蝶ネジをねじ込み確実に固定してください。

Fig.4



3. 使用方法

- 1) 高圧グリースガンの先端（チャック）と、相手の給油口を清潔なウエスなどでよく拭いてください。
- 2) チャックを相手のニップルに垂直になるようにセットし、少し押すようにしてチャックをニップルに咬みつかせてください。(Fig 5)
- 3) 高圧グリースガンをそのまま保持しながら、油槽が移動しないように踏板を踏んで固定し、ポンプのハンドルを上下にゆっくり操作してください。
ハンドルを下げるときに、グリースが吐出します。グリースが正常に給脂されている場合は、古いグリースがその部分の溝、または、隙間から押出されてきます。新しいグリースと入替わるまで給脂を続けてください。
- 4) 給脂が終わりましたら、チャックをニップルから外してください。チャックは強い圧力でニップルに咬みついていますので、無理に引っ張りますとニップルの頭部を折る恐れがあります。チャックを斜めに傾けて内圧を抜くことにより簡単に外すことができます。(Fig 6)

Fig.5

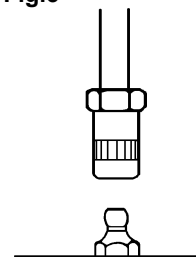
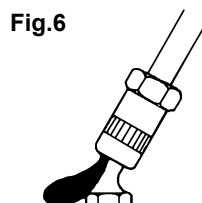


Fig.6



4. 保守・点検

4.1 故障の点検とその対策

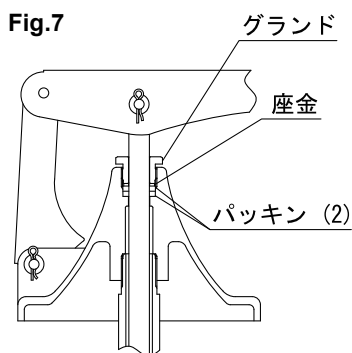
状 況	原 因	点検内容及び対策
ハンドルを操作してもグリースが出ない	グリースが入っているか	→ グリースの補給・交換
	↓ フォロープレートが正しくセットされているか	→ 点検・対策
	↓ ポンプの故障	→ サクション部の点検
グリースは出るが圧力・流量が不足	フォロープレートが正しくセットされているか	→ 点検・対策
	↓ ポンプの故障	→ サクション部の点検
グランドの上からグリースが出る	グランドパッキンの摩耗	→ 増締め、または新品と交換

4.2 保守・点検

[点検]

- ・ ハンドルの操作が堅くなった場合には、グランドを少し緩め、油を数滴さしてください。(Fig7)
- ・ ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めに交換してください。

Fig.7



4.3 分解・組立

警告

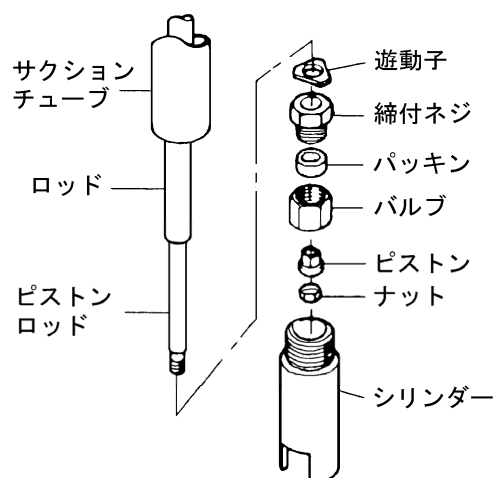


- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対使わないでください。引火・爆発の恐れがあります。

[サクション部の分解・点検]

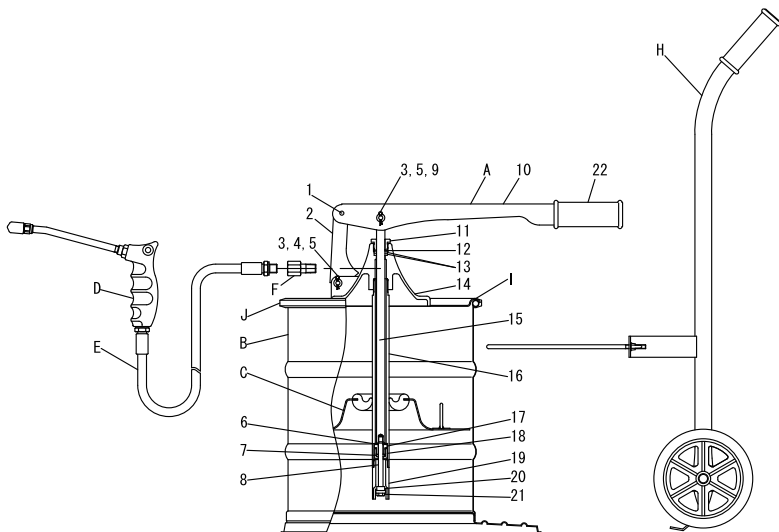
- 1) 高圧ホースをねじ戻し取外してください。
- 2) 油槽に蓋を固定しているバンドのストッパーを外し、止め金を起こしてバンドを緩めて外し、ポンプ組立を蓋と共に取出してください。
- 3) 蓋裏面の3本のFTネジをねじ戻し外し、蓋とポンプ組立を分離してください。
- 4) サクションチューブをバイスに固定してください。
このとき、プランジャーが上下する部分(下から約20cm位まで)は、バイスなどに掛けないでください。
- 5) シリンダー下部のナットをねじ戻して取外してください。
- 6) シリンダーにパイプレンチを掛け、ねじ戻して取外しますと、ピストン・バルブ・パッキン・締付ネジ・遊動子が分解できます。(Fig 8)
- 7) 各部品を洗浄・点検し、キズや摩耗があれば新しい部品と交換してください。
- 8) 点検・交換後部品の向きに注意して、分解と逆の順序で組立ててください。

Fig.8



5. 部品分解図・パーツリスト

■ 880307(SK-55)、880308 (SK-77) グリースバケットポンプ 分解図



グリースバケットポンプ パーツリスト

No.	部品名称	員数	部品番号	
			SK-55	SK-77
A	ポンプ組立	1	851111	←
B	油槽	1	830966	←
C	フォロープレート	1	801426	←
D	高圧グリースガン	1	800601	←
E	高圧ホース	1	695046	←
F	リリースバルブ組立	1	800600	←
H	キャリア組立	1	—	851003
I	蓋	1	707230	←
J	バンド	1	680456	←

851111 ポンプ組立 パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	702531	ピン	1
2	703182	リンク	1
3	631012	平座金	2
4	703574	ピン	1
5	680608	スナップピン	2
6	703183	遊動子	1
7	770332	パッキン	1
8	715805	ピストンロッド	1
9	703580	ピン	1
10	703185	ハンドル	1
11	580994	グラウンド	1
12	701755	座金	1
13	770333	パッキン	2
14	708317	本体	1
15	707234	ロッド	1
16	708315	サクシオンチューブ	1
17	703188	締付ネジ	1
18	703189	バルブ	1
19	703190	シリンダー	1
20	715804	ピストン	1
21	627290	ナット	1
22	770494	ニギリ	1

6. スペック

1) 仕様

製品番号	型式	全高	質量	油槽容量	付属品
880307	SK-55	504 mm	8.1 kg	16 L	800601 高圧グリースガン.....1 695046 高圧ホース.....1 801426 フォロープレート.....1
880308	SK-77	795 mm	10.0 kg	16 L	800601 高圧グリースガン.....1 695046 高圧ホース.....1 801426 フォロープレート.....1 851003 キャリー組立.....1

ポンプ性能

(参考)

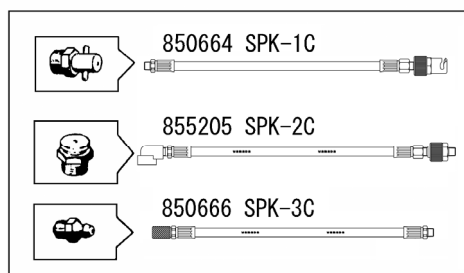
吐出圧力※	吐出量	ストローク
25 MPa	3.2 g/ストローク	38~43 mm

※印は、下記の条件により給脂ガン出口の値

使用グリース	油温	ホース・ガン
NLGI No.0	20 °C	標準品を使用

2) アクセサリー

給脂しようとするニップルが、狭い場所や作業しにくい場所、またはピンタイプやボタンヘッドタイプのニップルに給脂する場合は、専用のマイクロホースを用意しております。別途、ご購入の上ご利用ください。



7. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____ フリガナ ご住所 _____ _____	ご所属 _____ ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■ 貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">1. ガソリンスタンド</td> <td style="width: 33%;">2. 自動車整備業</td> <td style="width: 33%;">3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店	製品名（型式）																													
	製品番号																													
	SERIAL No.																													

※個人情報 は 当社の 個人情報 方針 に 基づき 適切な 安全 対策 の もと 管理 し、お 客様 の 同意 なく 第三者 へ 開示、提供 いたし ませ せん。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202103.2545 900157